

平成 29 年 12 月 18 日

特別支援教育に関わる皆様

日本教育情報学会 特別支援教育 AT 研究会
会 長 金 森 克 浩
(日 本 福 祉 大 学 教 授)

日本教育情報学会 特別支援教育 AT 研究会の開催について（ご案内）

時下皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、本学会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、特別支援教育に関心のある教員等を対象に、障害や特性に応じた学習・生活の質を高めるための支援技術（AT）や ICT を活用した教育実践を交流する研究会を開催します。年度末の週末で、公私ともお忙しいことと思いますが、ご参加いただき、共に学びたいと思います。よろしく願いいたします。

記

共催・後援（予定含む 50 音順）AT-Okinawa, 大阪支援教育コンピュータ研究会, チャレンジキッズ研究会, 東海特別支援教育カンファレンス, 特別支援 ICT 研究会, なんとカンファレンス, マジカルトイボックス

日 時 平成 30 年 3 月 17 日（土）13:30～16:30

場 所 滋賀大学教育学部附属特別支援学校（滋賀県大津市際川 3-9-1）JR 唐崎下車徒歩 16 分

予定されている発表内容

「見て見ておもちゃ君シリーズ」重度肢体不自由児への視線入力の紹介と体験

「分身型ロボット OriHime を活用した生徒主体の実践」

「楽譜の読めない私のイケてる音楽の指導」知的障害特別支援学校でのタブレットの活用

「農耕・園芸作業学習での Facebook 活用の検討」

「子どもが変わる！ ホワイトボード活用術」

「クリアシートでなぞり書き」

「牛の歩みの如く～神戸における特別支援教育でのアイカツ（ICT&iPad 活用）～」

「特別支援学校における『デジタル連絡帳アプリ』を利活用した教育支援連携実践モデルの提案」

「A さんの生活を支える情報共有～卒業後の生活からみえる保護者の ICT 活用～」

「刺激の少ない教室で、子どもたちがどう変わったか」

「特別支援教育での iPad 活用について～通級指導教室や特別支援学級での取り組みを中心に～」

活動報告 「AT-Okinawa～南の島の AT 情報共有～」 「東海特別支援教育カンファレンス」 「なんとカンファレンス」

機器展示 コミュニケーションを広げるための身近な支援機器の展示と実践紹介

ほか

その他 ・参加申し込みと同時に、口頭発表等も相談に応じます。申込時に参加者コメントでお問い合わせください。

・終了後、懇親会を計画しています。会費等は当日いただきます。

あたか飯店 050-5827-5805 京阪電車浜大津駅下車すぐ 17:30～

会費 5000 円程度の予定 会場の都合により、定員は 40 名となっています。

滋賀大学附属特別支援学校から無料送迎バスを用意しています。

○参加申し込みやお問い合わせ等詳細は以下からお願いいたします。

<http://www.kokuchpro.com/event/jseisneat/>

右の QR コードでスマホからでも申し込みできます。



発表の概要

「見て見ておもちゃ君シリーズ」	普及期に入った視線マウスを使い、PowerPoint から外部機器を操作します。これまで使用してきたスイッチ・トイが視線で動くようになりました。また、任天堂 Switch 等コンシューマーゲーム機も視線マウスで操作し対戦を行います。
「牛の歩みの如く～神戸における特別支援教育でのアイカツ(ICT&iPad 活用～)」	DropTalk 勉強会 in Kobe についての報告 アイカツが進行しない真の問題は何かというと、人材としての教師自身にあると考えているのです。セキュリティ問題などではなく。
「刺激の少ない教室で、子どもたちがどう変わったか」	視覚や聴覚的な刺激が多すぎて、何かに集中することが難しかった子どもたち... 刺激が少ない教室環境を整えて、2年間を一緒に過ごしました。子どもたちの学びや様子がどう変わったか?をご紹介したいと思います。
「分身型ロボット OriHime を活用した生徒主体の実践」	高等部で教育課程に準ずる学習をしている生徒を対象に分身型ロボット OriHime を活用して「主体的に話す力を身につける」事を目的に生徒が自ら自分の意見を伝える等を主体的と捉え、大学生と連携し対話を通して授業を行いました。今回は実践における生徒の変容を紹介したいと思います。
「特別支援教育での iPad 活用について～通級指導教室や特別支援学級での取り組みを中心に～」	草津市では、2014 年度から各小中学校にタブレットが導入されました。通常学級には Windows 系のタブレットが導入されましたが、特別支援学級には iPad が各校 10 台ずつ導入されました。 特別支援教育の中で、どのように ICT 活用を進めていくか、通級指導教室や特別支援教育での取り組みを中心にご紹介出来ればと思います。
「特別支援学校における『デジタル連絡帳アプリ』を利活用した教育支援連携実践モデルの提案」	特別支援 ICT 研究会では、「デジタル連絡帳アプリ」を研究開発し、家庭・学校の教育支援連携システムの構築を提案、実践を行ってきた。本発表ではこれまでの「デジタル連絡帳アプリ」を利活用した教育支援連携の効果について、また特別支援教育における教育支援連携実践モデルについて提案する。
「楽譜の読めない私のイケてる音楽の指導」	特別支援学校中学部での合唱、合奏の練習で、タブレット端末を活用した実践。教育情報学会第 3 0 回、第 3 2 回年会での発表をもとに、まとめ直しました。
「A さんの生活を支える情報共有～卒業後の卒業後の生活からみえる保護者の ICT 活用～」	A さんが高等部在学中、保護者と協力して iPad と電子書籍、アプリ、おもちゃ、紙のプロフィール表をセットにした引き継ぎ資料を作成しました。卒業後の生活の変化に伴う引き継ぎ資料の活用の変化と、保護者の ICT 活用の様子からみえてきたことを紹介したいと思います。
「農耕・園芸作業学習での Facebook の活用検討」	農園で取り組んでいる栽培活動の記録を、Facebook を利用して記録に残すことで、一年前・二年前と過去の栽培の様子を振り返り、時期ごとに何を必要があるかを、生徒自らが考えることのできるツールに仕上げられるのではないかと数年掛けて、その可能性を考えてきた。
「AT-Okianwa の活動報告 ～南の島の AT 情報共有～」	沖縄県特別支援学校の教員で情報を共有したいと始まった AT-Okianwa。メンバーリストから学習会へとステップアップしてきた AT-Okianwa の活動(最近の学習会の様子等)を紹介したいと思います。
「クリアシートでなぞり書き」	筆圧が弱い子や目と手の対応動作が未成熟な段階の子など繰り返して書くことが必要な時期の子どもへの支援の一つとして、クリアシート・プリント・ホワイトボードマーカーを使えば、「学習意欲が向上してやる気になっちゃった」ってローテクだけどすぐできる面白い教材を紹介しちゃいます。
「子どもが変わる! ホワイトボード活用術」	身近にあるホワイトボードを上手に活用することで、子供たちへ有効な支援を行うことができます。最近では多機能なホワイトボードも手に入るようになってきました。そこで、今回は「子どもが変わる! ホワイトボード活用術」の本から、教育現場で即使えるアイデアを紹介していきます。